本から広がる世界

― 本との出会い ―

ともだちは海のにおい

作家　阿部 暁子（あべ あきこ）

小さいころ、じぶんで思いついたことがなかなか言えなくて、いつも友だちの言ったことにうなずいてばかりいた。『ともだちは海のにおい』は、星空の下の海で出会った女の子たちが、ともだちになりたくてどうしたらいいかと悩んだり、ともだちになれるかどうか不安になったりしながら、大冒険があったり、度肝を抜かれる展開があったりするわけではない。ただ日記のように（くじらはいるかの物語だ。流れ星のようにいつでも思いついた時に、おいのかは知らないので、いつまでも思いついた時に、お誕生日を祝い合う。くじらといるかは朝からもしないで海を漂い、お茶をしたり、ビールを飲んり、よりそって泳いだりする。

日欠かさず日記をつけている）二人の「ある時」つづられていく。その小さな物語のひとつひとつ、愛らしくて、ひたむきで、時々ちょっとさびしくて、時々とっても楽しくて、この本と出会った当時小学生だった私は、ふたりと一緒に海の中で暮らしているような気持ちになった。文字を目で追っている間、銀色でチャーミングないるかと、真っ黒で慮深いくじらが話をしたり、並んで青い海を泳いでいくのが、幼かった私には本当に見えた。つるつるのいるかの肌をなでた記憶が、どこまでも深いくらの瞳をのぞきこんだ記憶が、今でも残っている。物語の持つ宝物と秘密を、私はこの本に教えてもらった。その宝物と秘密を自分でも見つけたくて、説家になったのだと思う。

イラスト：さいとうゆきこ

『カフネ』で本屋大賞おめでとう！
この賞って全国の書店員さんがね、
「この本を売りたい！」って
一番にした本なんだ。
本屋さんの宝物になったね。

阿部 暁子さん
（あべ・あきこ）

PROFILE

岩手県花巻市出身、岩手県在住。2008年『屋上ボーイズ』（応募時タイトルは「いつまでも」）で第17回ロマン大賞を受賞しデビュー。著書に『どこよりも遠い場所にいる君へ』『また君と出会う未来のために』『パラ・スター〈Side 百花〉』『パラ・スター〈Side 宝良〉』『金環日蝕』『カラフル』などがある。『カフネ』で第８回未来屋小説大賞、第１回あの本、読みました？大賞、2025年本屋大賞を受賞。